

豊かな自然を活用して
生み出されたエネルギーを
地域で活用する仕組みづくり

脱炭素先行地域 佐治町エリアの取組

2023(令和5)年、鳥取市は環境省「脱炭素先行地域」に選ばれました。佐治町エリアと若葉台エリアにおいて、再生可能エネルギーの導入とエネルギーの地産地消、地方創生を目指した取組を進めています。

佐治町内では、

- 佐治川流域での小水力発電所の整備
 - 公共施設への太陽光発電設備の導入
 - 公共施設への電気自動車の導入
 - 既存住宅の断熱改修の促進
- などの事業を進めています。

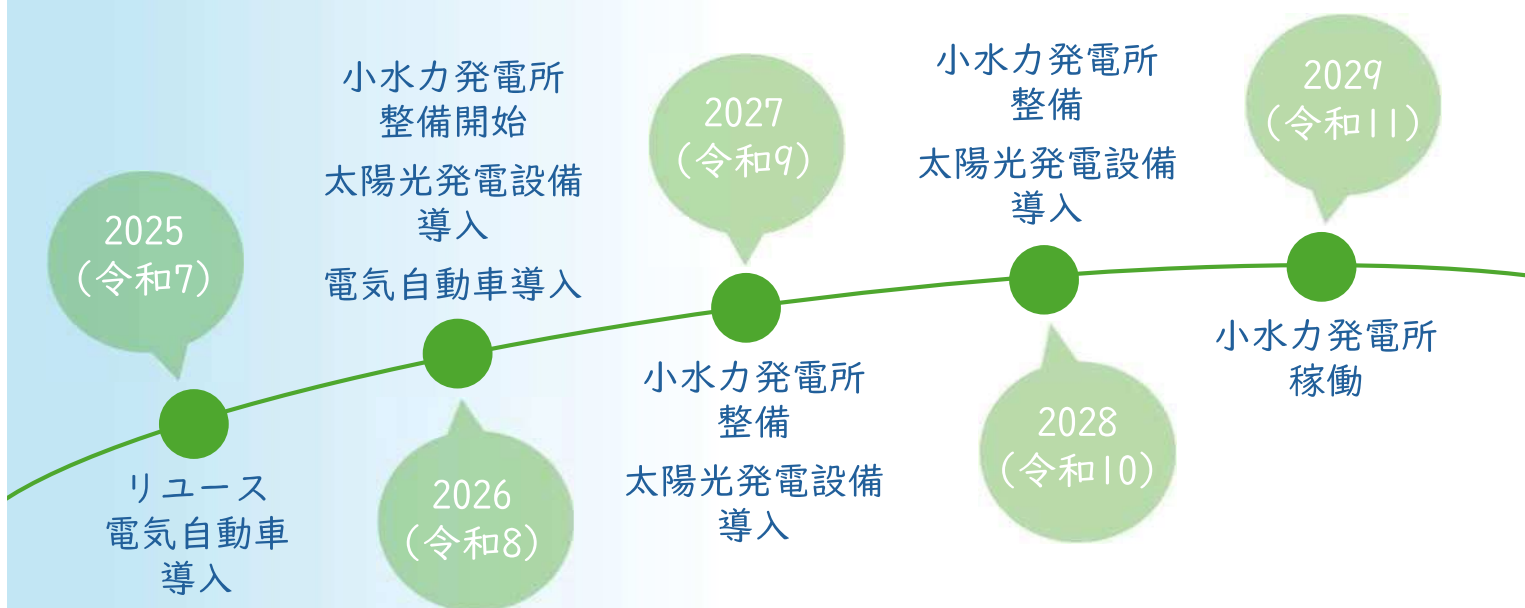
» 事業進捗については、
随時、佐治町の皆さまへご説明いたします。

[問合せ先]

鳥取市経済観光部 経済・雇用戦略課
スマートエネルギータウン推進室
☎ 0857-30-8288
✉ energy@city.tottori.lg.jp



佐治町エリアの取組（予定を含む）



小水力発電所の整備 [2026年度-2028年度]

民間資金を活用した公共施設として、佐治川中流域（上大井地内）に、小水力発電所の整備を進めています。発電所の整備と運営は「さじがわ小水力発電株式会社（鳥取市永楽温泉町171）」が行います。



取水口と発電所建屋（他県の例）

太陽光発電設備の導入 [2026年度-2028年度]

さじアストロパーク（高山）など、町内の公共施設への太陽光発電設備の導入を進めています。発電した電力は施設の運営に活用します。



電気自動車（EV）の導入 [2025年度-2026年度]

2025年度、佐治町総合支所（加瀬木）にリュース電気自動車を導入し、2026年度には、さじアストロパークへ電気自動車の導入を予定しています。電気自動車の蓄電池を、災害時の非常用電源として活用できるように、レジリエンス対策を図ります。



既存住宅断熱改修の促進 [2023年度-2028年度]

町内の既存住宅を対象に、高性能建材（ガラス・窓・断熱材・玄関ドア）を用いた断熱改修に要する費用の一部を補助します。

（補助率：対象経費の3分の2 補助上限：一戸あたり120万円）

皆様とともに脱炭素社会の実現を目指して

- ☑ 夏の暑さ
- ☑ 冬の寒さ
- ☑ 電気代の高騰

お気軽に
お問い合わせください



電気代を
節約しながら
何とかしたい!

その悩み、補助金でサポートできるかもしれません!
さらに、鳥取市の脱炭素先行地域づくり事業に貢献できます!



脱炭素先行地域
鳥取市

既存住宅断熱改修費を補助します!

既存住宅断熱改修 補助金
促進事業費補助金 最大 **120万円**

既存住宅において、エネルギー消費効率の改善を促進するため、居間又は主たる居室（就寝を除き日常生活上在室等）を中心に実施する省エネにつながる建材を用いた断熱改修を支援します。

※予算上限に達し次第終了となります。下部2次元バーコードサイト内でお知らせします。

令和8年

12/10 (木) まで

申請受付期間



リビング



窓



断熱材



玄関

補助対象者

脱炭素先行地域選定エリア（若葉台地区・佐治町）内に住宅を所有し、かつ、現に居住する個人

補助対象経費

補助事業の実施に必要な建築材料（高性能建材：ガラス・窓・断熱材・玄関ドア）の購入経費及び当該製品等の通常の設置に要する工事費
※詳しくは「申請の手引き」6ページをご参照ください。

補助率

・補助率 **2/3** ・限度額（戸建て住宅の場合）1戸あたり**120万円**（玄関ドアの上限は5万円）

改修箇所及び改修率

居間または主たる居室（就寝を除き日常生活上在室時間が長い居室等）を中心に改修することが要件です。居間または主たる居室を含まない改修は対象外となります
延べ面積における補助対象面積の占める割合（改修率）が、エネルギー計算結果早見表における改修箇所の組み合わせごとの最低改修率を上回る必要があります。
※詳しくは「申請の手引き」9ページをご参照ください。

鳥取市役所 スマートエネルギータウン推進室（本庁舎4階48番窓口）

☎ **0857-30-8288** 8:30~17:15（月~金）※土・日、年末年始、祝日を除く

詳しい要件や申請の手引き、申請書様式は [こちら](#)

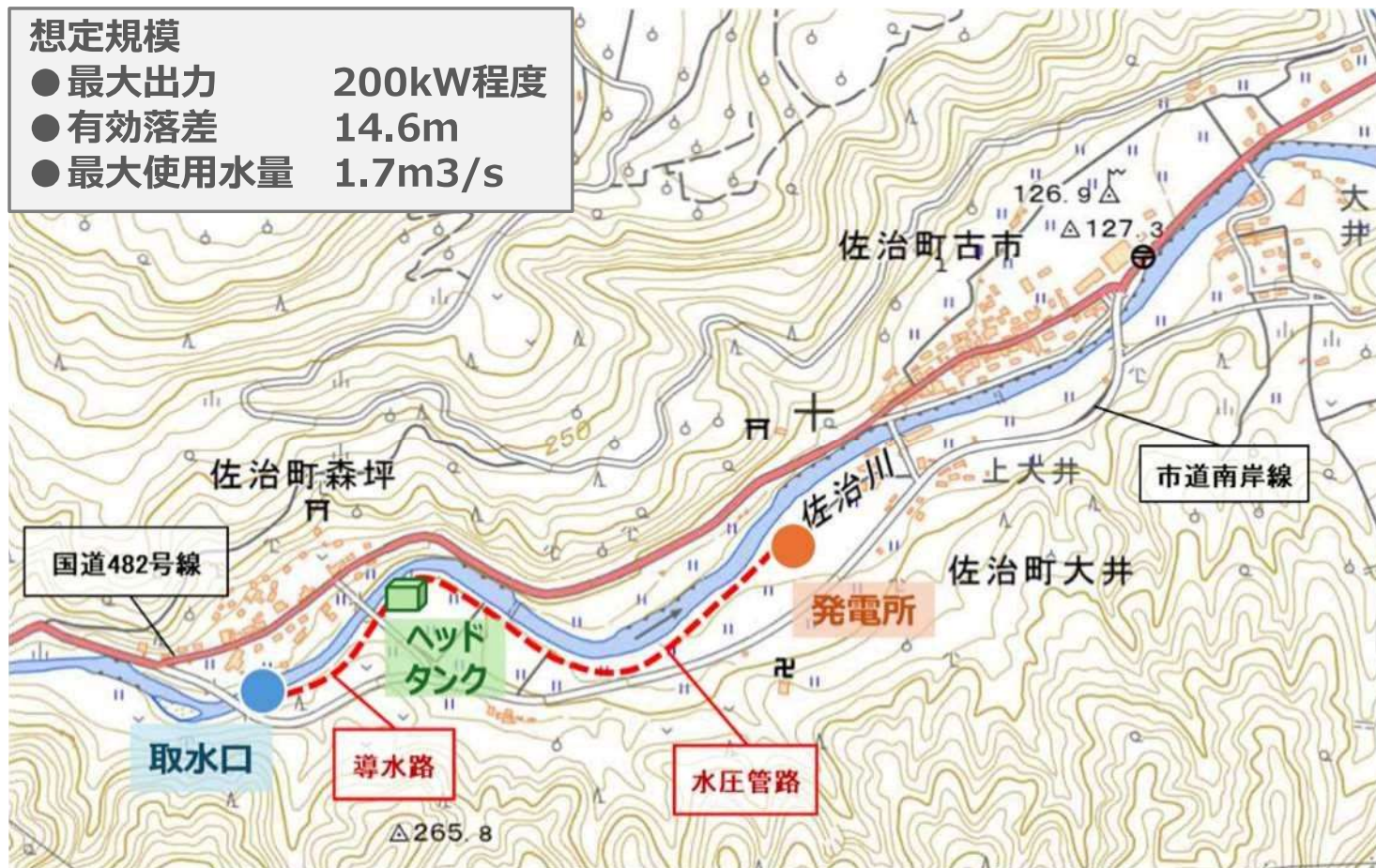


佐治川小水力発電所整備計画

● 整備計画 / 佐治町大井地内 ※基本設計(令和7年12月)時点

想定規模

- 最大出力 200kW程度
- 有効落差 14.6m
- 最大使用水量 1.7m³/s



年度	取組内容
令和5(2023)	環境省「脱炭素先行地域(第3回)」選定
令和6(2024)	事業概要説明 ・佐治地域振興会議(5月-2月) ・住民説明会(11月_森坪、上大井、古市) ・関係者説明会(3月_森坪・大井上集落協定) 河川測量調査と環境調査の実施
令和7(2025)	河川流量調査と解析、基本設計の実施 関係者説明会(11月_森坪、上大井、古市) 発電所整備運営事業者の選定
令和8(2026)[予定]	詳細設計(上半期)の実施 設備工事着手(下半期)
令和9(2027)[予定]	設備工事
令和10(2028)[予定]	設備工事完了(年度末)
令和11(2029)[予定]	発電所供用開始



森とみずのちから
THE POWER OF FORESTS AND WATER



佐治川小水力発電事業 事業概要説明

さじがわ小水力発電株式会社

会社紹介

さじがわ小水力発電株式会社

(2026年3月設立、所在：鳥取市永楽温泉町171)

共同出資



<拠点：鳥取>



森とみずのちから
THE POWER OF FORESTS AND WATER

<拠点：奈良・吉野>

<鳥取銀行の役割>

(地域・自治体との
パートナーシップ体制の構築)

<(株)森とみずのちからの役割>

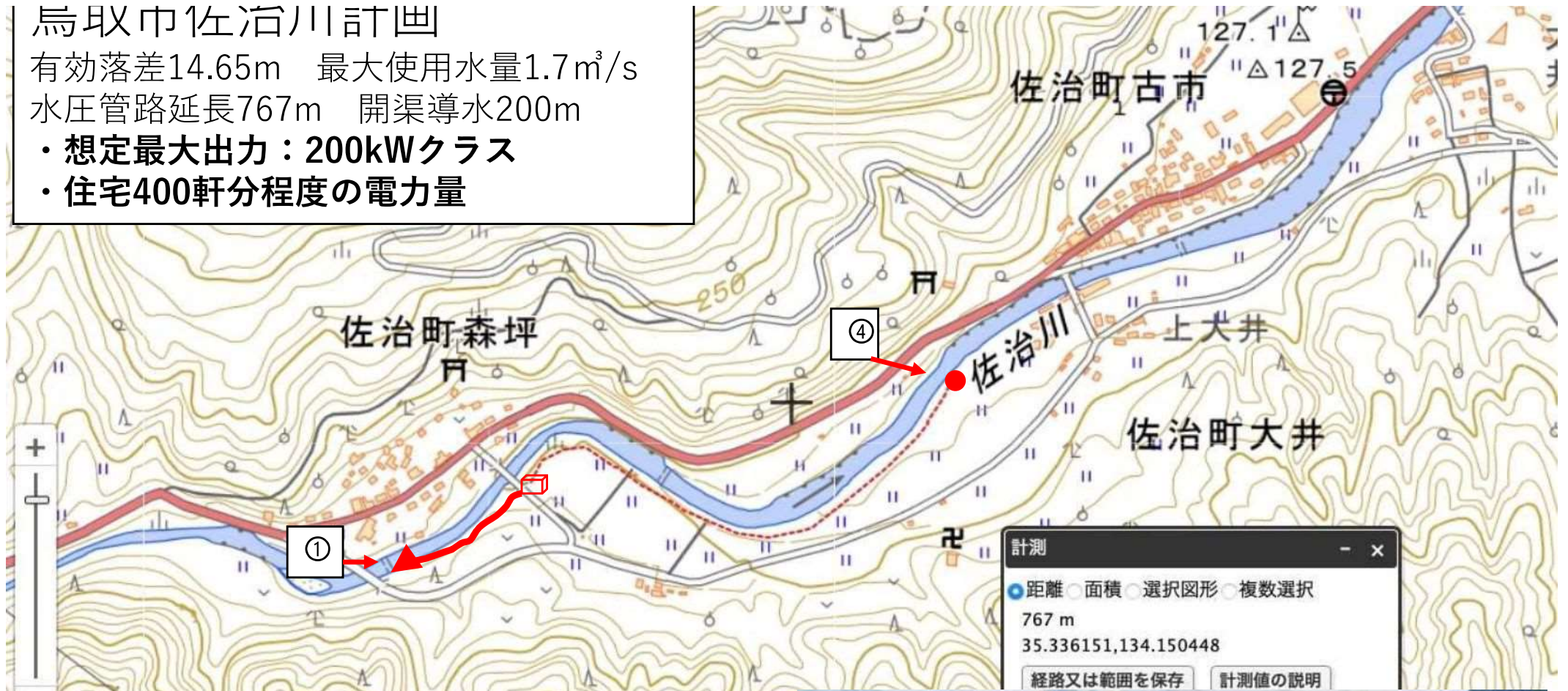
(EPC業務の実施と統括)
(OM業務の構築と統括)

鳥取市佐治川計画

有効落差14.65m 最大使用水量1.7m³/s

水圧管路延長767m 開渠導水200m

- ・ 想定最大出力：200kWクラス
- ・ 住宅400軒分程度の電力量



①取水予定頭首工



④発電所予定地



発電所の概要

取水設備

水を河川などから取る設備

ヘッドタンク

取水した水のごみを除去し
流水を安定的に水圧管に
導くためのタンク

導水路

水圧管

発電するための水圧に
耐えられる管
(500~3,000m程度)

河川

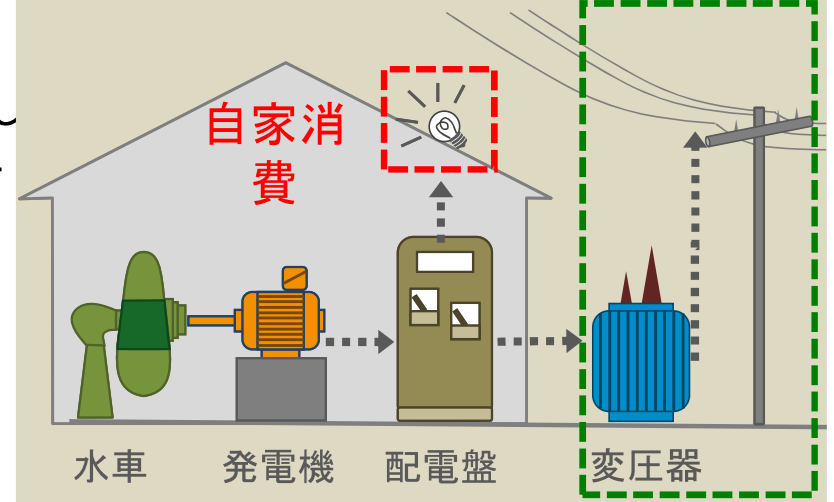
もしくは用水路

余水路

水量が多いときや、水車発電機
を停止した場合に水を流す水路

発電所内

系統連系



発電所

水車や電気設備が設置される建物

放水路

発電に使った水をもとの
河川に戻す水路

笹川小水力発電所（富山・朝日町）



取水口、ヘッドタンク

定格出力	199.9kW
落差	81m
水量	0.28m ³ /s



縦軸フランシス水車



発電所

事業スケジュール

事業年度	R7	R8	R9	R10	R11	...	R30
		2026	2027	2028	2029		2048
マイルストーン	▼事業契約 (R 7年度内)	▼設計中間報告 ▼完成検査 ▼施工計画書提出 ▼鳥取市からの事前承認		試運転▼ 工事完了届提出▼ 完成検査▼ 業務計画書提出▼	▼電力供給開始 (4月頃)		
設計		詳細設計(7M)					
水車調達		水車調達(17M)					
工事		工事(29M)					
運用							R31.3.31▼ 運用 (20Y)

小水力発電事業は本来5年以上かかるものですが、
3年で完工させるスケジュールとなっております

地域還元策

町内会や漁協など各ステークホルダーとの協議を予定しております。
電力は脱炭素先行地域の枠組みで活用いただけるよう
とっとり市民電力様へ売電いたします。

3.地域売電

とっとり市民電力様への売電

2.
維持管理

取水口の維持・清掃等の業務を
委託の可能性

1.合意

町内会・水利組合・漁協

実務内容

今後以下の調整業務を開始いたします。

千代川漁協様	5月中	契約書の締結（維持流量は口頭合意済）
各関係団体様	ご調整	各関係団体との事業合意書の締結 （町内会、水利組合など）
地権者様	6月頃 開始	沈砂池～導水路～発電所まで全て農業振興地域 農業委員会で議題として諮る必要有
許認可関係	随時 実施	県自然環境保全地域（特別地区）、河川法...

QA表

工事時期

水田の営農を前提とするため冬季に工事を行う方向で調整です。3季に分割して水圧管を敷設する予定です。

竣工後の田んぼ漏水補償について

現場の漏水対策を実施いたします。

発電所の騒音

これまで10基程度運用している中で苦情はございません。

高圧施設のため、周囲で心臓のペースメーカーを使用している人への影響の有無

外部に漏れる電磁界は非常に小さく、道路・敷地外に影響が出る可能性はございません。





2026年4月16日

各位

株式会社 鳥取銀行

鳥取市佐治町（脱炭素先行地域）における佐治川小水力発電事業への取組みについて

株式会社 鳥取銀行（頭取 入江 到）は、このたび株式会社森とみずのちから（代表取締役 貝本 隆三）と共同して鳥取市佐治町佐治川における小水力発電事業の取組みを進めていく運びとなりましたので、お知らせいたします。

当行と株式会社森とみずのちからは、2024年5月に「鳥取県における小水力発電事業に関する協定書」を締結し、鳥取県内において小水力発電事業の推進をしております。

本事業は、環境省の「脱炭素先行地域」※¹の選定を受けた鳥取市が公募するPFI事業※²に対し、同社との共同応募が採択されたもので、小水力発電事業として当行初の取組みとなります。

なお、事業実施にあたり、2026年3月に当行と同社により発電事業者として特別目的会社※³「さじがわ小水力発電株式会社」を共同設立し、同月に鳥取市と事業契約及び鳥取市脱炭素先行地域づくり事業に関する連携協定を締結いたしました。

当行は、小水力発電事業への取組みを通じて、地域の自然資本を活かした再生可能エネルギーの創出、循環による地域還元及び脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 脱炭素先行地域とは

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、2030年までに民生部門（家庭・業務）の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロを前倒しで達成し、地域課題の解決と魅力を向上させるモデル地域で環境省より選定される。

※2 PFI事業とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。

※3 特別目的会社とは

特定の目的を達成するために設立される法人であり、本事業では小水力発電事業のために設立された会社のこと。

記**1. 小水力発電所計画概要（予定）**

建設予定地	鳥取市佐治町大井地内
発電事業者	さじがわ小水力発電株式会社
完成予定時期	2029年3月（4月より売電予定）
最大出力	200kw程度
最大使用水量	1.7 m ³ /s
有効落差	14.65m

（鳥取市公表 鳥取市佐治町佐治川小水力発電所 整備運営事業 実施方針より抜粋）

【発電所位置図】



【事業予定地】



2. 特別目的会社概要

会社名	さじがわ小水力発電株式会社
代表者	貝本 隆三
所在地	鳥取県鳥取市永楽温泉町 171 番地（当行本店内）
事業内容	小水力発電事業、水力発電等の自然エネルギーに関するコンサルティング等
資本金	10 百万円
株主構成	株式会社森とみずのちから 95%、株式会社鳥取銀行 5%
設立日	2026 年 3 月 18 日

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
 企画開発部（村上）経営統括部（片寄）
 TEL 0857-37-0290・0260